

平成 23 年度【「基礎・基本」定着度調査】 結果の概要をお知らせします

実施期日

平成 24 年 1 月 17 ～ 18 日

実施学年

小学校第 5 学年
中学校第 1・2 学年
県内すべての公立小・中学校で実施

実施教科

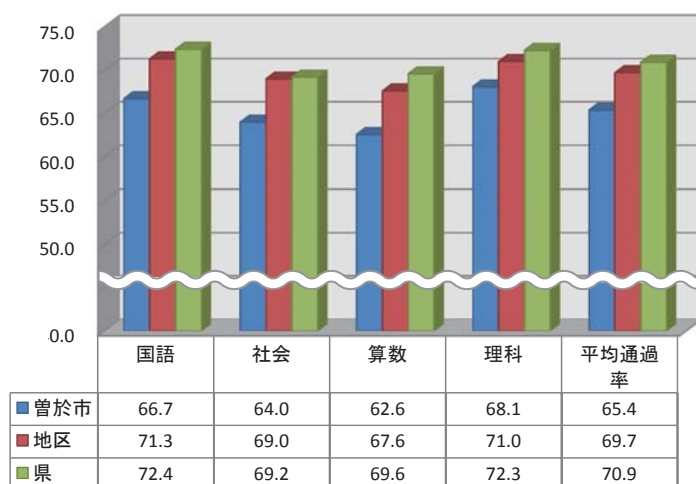
小学校 国語・社会・算数
理科
中学校 国語・社会・数学
理科・英語

調査の趣旨・目的

県内の児童生徒の学力の定着度について、客観的なデータに基づく把握・分析等を行い、各学校における指導法改善の取組等を支援することにより、児童生徒の学力向上を図るために実施しています。

この調査結果は、学力の特定の一部であり、児童生徒の学力のすべてを表しているものではありませんが、結果を把握・分析することにより、学力に関する課題を明確にし、その改善を図ることができます。

＜小学校 5 年生＞



【分析】

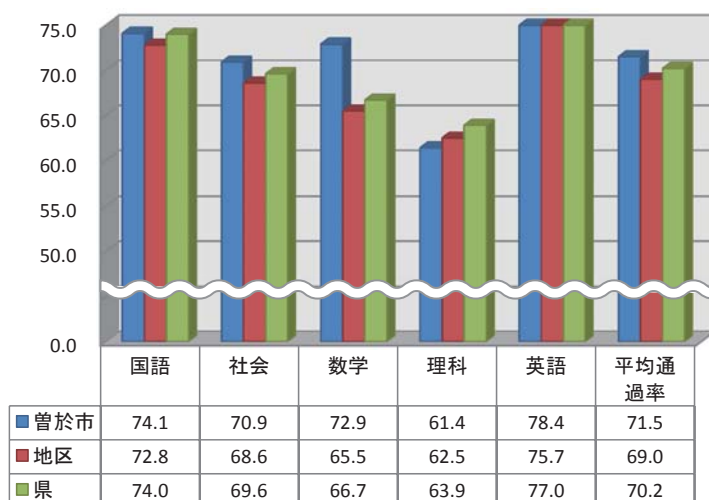
平均通過率は、4 教科とも地区・県の平均に届いていませんが、昨年度と比較すると市全体の平均通過率が上昇し、県平均を上回る学校も多く出てきています。

【対策】

- 算数では、式・図・表・グラフ等の読み取りから、自分の考えや解決方法を筋立てて説明するなどの数学的な思考力・表現力に関する指導を充実させる。
- 学校と家庭がより連携を図り、「読み・書き・計算」の練習を毎日繰り返し行う「家庭学習 60・90 運動」をより一層充実させる。

※曾於市内の各小・中学校では、「宿題」ではなく、自ら取り組む「家庭学習」の充実に取り組んでいます。

＜中学校 1 年生＞



【分析】

平均通過率は、理科を除く 4 教科で県・地区の平均通過率を上回っています。平成 22 年度も地区の平均通過率を上回っていましたが、今回（平成 23 年度）は、県の平均通過率と比較しても大きく上回っています。中学校での学力向上対策が成果をあげていることが分かります。

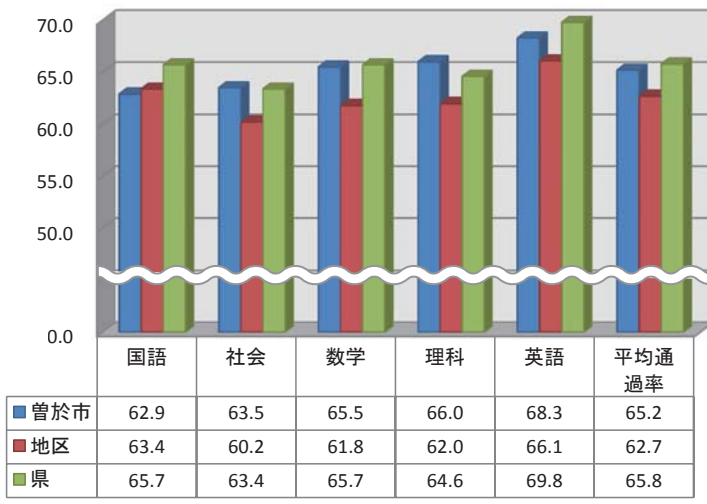
【対策】

- 理科は、観察・実験などの直接体験を重視し、学習内容と生活の中の事象とを関連付け、実感を伴った授業を展開していきます。
- 中学校 1 年生においても、家庭学習 60・90 運動をもとに、毎日の自主的な「読み・書き・計算」で力をつけていきます。

※通過率とは、各設問ごとに正答した児童生徒の数を、調査実施児童生徒数で除したものをいいます。

※地区とは、曾於市、鹿屋市、垂水市、志布志市、大崎町、東串良町、錦江町、南大隅町、肝付町の 4 市 5 町のことです。

＜中学校 2 年生＞



【分析】

平均通過率は、社会・理科が県・地区の平均通過率を上回っています。数学と英語は地区の平均通過率を上回っています。国語は県・地区の平均通過率から下回っています。

【対策】

○国語では、「書くこと」について課題があることから、文章や図表・グラフを使って思考を整理し、自分の考えをまとめ、記述する力の定着を図っていきます。

○英語では、「表現の能力」及び「言語や文化に関する知識・理解」について課題があることから、「話すこと」の力を高めるための指導として、音声による表現の練習を繰り返し行い、正確な表現の定着を図っていきます。

『市の学力向上への取組』

1 そおっ子の「夢」育み支援事業の推進

オリンピックで活躍したトップアスリートや芸術家等を招き、講演や実技をとおして知識や技能を学ばせ、豊かな心や感性を育むだけでなく、夢や目標、そして、これをエネルギー源とする「やる気」をもって努力することの大切さを学ばせます。

【これまでの講師たち】

- 藤本 美加（バルセロナオリンピック、アトランタオリンピック女子バレーボール選手）
- 高山 樹里（アテネオリンピック女子ソフトボール選手：投手）
- 武田 双雲（NHK大河ドラマ「天地人」の題字を書かれた書道家）
- 遠藤 彰弘（Jリーグ選手、アトランタオリンピックサッカー選手）
- 宇津木妙子（シドニーオリンピック、アテネオリンピック全日本女子ソフトボール監督）など

2 市学力向上対策研究協議会の充実

(1) 「指導と評価」フォーラム開催（平成 24 年 8 月 1 日：末吉中央公民館）

全職員を対象に、大学教授（中教審委員）を講師に招き、学力に関する各種検査を具体的に生かすための実技講習会を開催し、教職員の指導力向上を図ります。

(2) 「夢」実現チャレンジ講座の開催（平成 23 年 8 月 7、8、9、10 日：末吉総合センター）

市内のそれぞれ異なる中学校に在籍する生徒たちが一堂に会し、切磋琢磨しながら学習することで、より明確な学力向上への意欲を喚起するとともに、基礎学力の確実な定着を目指します。

また、高校の専門性を生かした学習に触れることで、学ぶ楽しさや学問への興味・関心を高め、将来への大きな志や夢を育むとともに、高校進学への意識を強化することにより高い目標に向かって取り組む意欲を喚起します。

(3) 市学力向上共通実践（重点指導）事項等の推進

- ア 電子黒板等を活用した I C T 機器の効果ある活用を図ります。（デジタル教科書の積極的活用）
- イ 鉛筆の正しい握り方、大きな声での発表など、学習のしつづけを徹底します。
- ウ 速読・速書・速算などの三速運動を推進します。
- エ ノーテレビデー、家庭学習 3 か条等の実践や家庭での学習時間を十分に確保した家庭学習（60・90 運動）を推進します。

(4) 教師力向上講座（夢実現支援者の集い）の開催（平成 24 年 8 月 10 日：末吉総合センター）

児童・生徒の学力向上を図るために、教師自らが「指導力の向上」を目指して、研修を深めます。